

コミュニティ・スクールだより

令和元年 7月22日(月) No.1

第1回学校運営協議会を開催

～今年度の活動がスタートしました～

6月24日(月)に第1回学校運営協議会が開催され、今年度の活動がスタートしました。会議の中では会長・副会長の選出し、各学校の経営方針、活動計画等について承認されました。

【令和元年度 鶴居中学校区学校運営協議会委員】

	氏 名	地域役員等	選出区分	
鶴居小	遠藤 浩一	校長	対象学校長	
	長谷川充夫	教頭	対象学校教職員	
	高松 一哉	P T A会長	保護者	
	浅川 洋子	地域住民	地域住民	
	小野寺勝彦	地域住民	地域住民	
下幌呂小	高田 勝也	消防署長	地域住民	副会長
	田中 敏行	校長	対象学校長	
	山舘 孝志	教頭	対象学校教職員	
	森田 雅人	P T A会長	保護者	
	中谷 正人	自治会長	地域住民	
鶴居中	坂元 玲子	地域住民	地域住民	
	岩崎 等	校長	対象学校長	
	名和 勝紀	教頭	対象学校教職員	
	高平 将臣	P T A会長	保護者	
	村上 泰夫	自治会長	地域住民	
	秋山つや子	地域住民	地域住民	
	宇野 健二	元校長	地域住民	会長

【事務局】

(教育委員会)

国安 修一
(教育長)
佐藤 恵治
(教育課長)
清野 玲子
(総務係長)
渡邊 優衣
(総務係)
音成 邦仁
(コ-デ ィネ-ター)

《協議会の

キーワード》

◇熟議

◇一致

◇精度

そもそも「コミュニティ・スクール」って何？

現在、子どもたちを取り巻く環境や学校が抱えている課題は大変複雑化・多様化しており、課題を解決していくためには、学校と地域の連携・協働の重要性が指摘されています。こうしたことから、学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校づくり」への転換を図るための有効な仕組みとして、平成29年4月に「コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)」が誕生しました。(法改正により、学校運営協議会の設置が教育委員会の努力義務となりました。鶴居村では、昨年4月、鶴居中学校区(鶴居小・下幌呂小・鶴居中)で「コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)」がスタートしました。組織図は裏面に掲載しています。)

《コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)とは》

学校と保護者や地域の皆さんが、ともに知恵を出し合い、一緒に協働しながら子どもたちの豊かな成長を支えていく「地域とともにある学校づくり」を進める仕組みです。

コミュニティ・スクールには、保護者や地域住民などから構成される学校運営協議会が設置され、学校運営の基本方針を承認したり、教育活動などについて意見を述べるといった取組が行われます。これらの活動を通じて、保護者や地域の皆さんの意見を学校運営に反映させることができます。

スローガン「日本一あいさつも美しい村」

～挨拶が今よりも飛び交う地域を目指して～

昨年度の本協議会で、今年度は『挨拶』をキーワードとして活動していくことが確認され、先日の本協議会で、「日本一あいさつも美しい村」をスローガンとして、挨拶運動を行っていくことが確認されました。地域の中で挨拶が今よりも飛び交うことでコミュニケーションがより活発になり、そのことが地域の安全・安心にもつながることを目指しています。地域の皆さんのご協力、よろしくお願いします。

鶴居中学校区コミュニティ・スクール

<目指す子どもの姿・学校の姿・地域の姿>

- 【こどもの姿】自らの目指すキャリアの実現に向けて主体性をもって進路を選択し、多様で変化に富んだ時代を「たくましく生き抜いていくための力」を身につけている子ども
- 【学校の姿】新学習指導要領を見すえた特色ある教育活動を展開するとともに、PDCAサイクルに基づいて更に高い目標を目指して組織的に運営される学校
- 【地域の姿】地域や人の個性や良さを共有するとともに、人々が互いに連携・協力し、学び合い学び合いながらまちづくりの担い手が育つ地域

